

令和8年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 事業計画

綱 領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与することを目的とする。

【今年度の基本方針】

令和8年度の事業計画及び予算の策定にあたっては、近年の大幅な収入減に加え、今後も更に加速することが見込まれる児童生徒数の減少を踏まえ、事業全体の在り方を根本から見直した。その上で、限られた財源の中でも必要な公益目的事業を着実に継続し、持続可能な事業運営を図るため、各事業の規模及び実施方法の適正化を進めることとした。

公益目的事業のうち、全国大会及びブロック大会については、大会の意義を尊重しつつも、規模及び費用の適正化を図る観点から、補助金の適正額等について具体的な検討を進める。調査研究事業については、より効果的かつ効率的な実施を目指し、実施方法の見直しを行うものとする。また、国内研修については、低予算であっても継続的に実施可能な形を模索し、必要な学びの機会を確保していく。

さらに、法人会計については、会議の開催形式にオンラインを積極的に活用することにより、旅費等の経費削減を進めるなど、全体として支出の最適化を図るものとする。

これらの取組を通じて、限られた財源の中にあっても、正会員である全国の協議会との十分な対話と情報共有を重ねながら、全国のPTA活動とともに、子供たちの健やかな成長を支え、PTA会員の生涯学習を推進する役割を果たしていく。公益法人の全国組織としての社会的責任を十分に認識し、その役割と地域の主体性が両立する持続可能な運営体制を構築し、引き続き適正な運営及び透明性の確保に努めていくものとする。

【事業ごとの方針】

1 公益目的事業

(公1) 全国大会事業

社会教育、家庭教育及びPTA活動の資質向上に資するため、全国大会を奈良県にて開催する。全国大会においては、全国各地の単位PTA及び連合体の活動状況や成果を発表し、それを素材として研究協議することによって、新しい時代の要請に応えるPTAのあり方を探求するとともに社会教育団体の一員としての責任を達成する。また、各ブロックPTA研究大会を後援する。

(公2) 調査研究事業

子供たちの健全育成及び福祉の増進のため、子供を取り巻く社会環境に関する調査研究や教育改革についての保護者の意識調査等、組織・財政、教育、環境、厚生等に関する調査研究を実施することによって、新しい時代の要請に応えるPTAのあり方や課題解決のための方策を探求し、そこで得られた成果としての資料・情報を提供する。ただし、今年度は今までの調査結果の利用結果、その効果等を分析することで、今後のより良い調査研究に資する年度と位置づけ、従来のアンケート調査は実施しない。

(公3) 表彰事業

PTA活動の資質向上及び活性化のため、本法人の目的に沿って顕著な業績を上げたPTA、その他の団体及び個人の表彰を行う。

また、家庭の教育力の向上及び家族のきずなの大切さ等を促進するため、文部科学省後援のもと三行詩を募集し、入賞者を表彰する。

(公4) 広報事業

社会教育、家庭教育及びPTA活動の資質向上に資するため、様々な課題に関する情報を更にホームページや刊行物等で発信する。また、適宜、関係府省庁・機関等に対して協力要請、要望活動等を行う。こちらも、冊子等の販売実績等を踏まえ、スリム化、Web化を実施する。

(公5) 国際交流・研修事業

国際社会で活躍できる次代を担う人材を育成するため、子供を対象とする交流や研修を実施する。3月に予算を縮小、2泊3日としてコンパクトだが効果的な事業を行う。

会員数の減少、児童生徒数の減少等も見据えて、より効果的な事業となるように、今後の事業の規模、開催頻度、対象人数などを検討する。

(公6) 教育支援助成事業

子供たちの心身ともに健全な成長を図るため、教育関係の支援助成活動を行うことを目的としているが、具体的に可能な活動とその財源があるかも検討する。

2 収益事業

(収1) 協賛事業

教育的配慮が十分に認められる優良事業・物品及び優良映画等の推薦を実施し、協賛会社から協賛金を受領する。協賛社を増やす取り組みを考える。

【各事業の事業計画】

1 公益目的事業

(1) 全国大会事業

①第74回日本PTA全国研究大会奈良大会を開催する。

(開催日) 分科会 令和8年8月21日(金)

全体会 令和8年8月22日(土)

(場所) 奈良県天理大学杣之内第一体育館 他7会場

(参加数) 約6,000人

(研究課題) 第1分科会 家庭教育、第2分科会 学校教育、第3分科会 人権教育

第4分科会 地域連携、第5分科会 今日的課題、第6分科会 広報活動(防災)

特別第1分科会 今日的課題、特別第2分科会 今日的課題

(記念講演) 小名木 善行 氏

②各ブロックPTA研究大会を後援する。

(開催日) 令和8年8月以降、ブロックPTA協議会ごとに開催。ただし、中国ブロックは今年度休会する

(2) 調査研究事業

今年度のアンケート調査は行わず、これまでのアンケート結果の効果を分析して今後の調査・研究の方向性を検討する年度とする。

(3) 表彰事業

①顕著な業績を上げたPTA団体及び個人の表彰を行う。

(開催日) 令和8年11月24日(火)

(場所) 国立オリンピック記念青少年総合センター

(表彰) 文部科学大臣賞及び日本PTA会長賞の授与

②全国小・中学校PTA広報紙コンクールの表彰を行う。

(開催日) 令和8年11月24日(火)

(場所) 国立オリンピック記念青少年総合センター

(表彰) 文部科学大臣賞、日本PTA全国協議会会長賞、日本教育新聞社社長賞、教育家庭新聞社社長賞、企画賞、写真賞、レイアウト賞、佳作、WEB特別賞、奨励賞の授与

(刊行) 第48回全国小・中学校PTA広報紙「優秀広報紙作品集」

発行予定：令和9年1月 発行部数 200部

③楽しい子育て全国キャンペーン「～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～」をテーマとする三行詩コンクールの表彰を行う。

(表彰) 文部科学大臣賞、日本PTA全国協議会会長賞、独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長賞、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞など

(刊行) 「2027ファミリーカレンダー(三行詩優秀作品)」を作成する。

発行予定：令和9年1月(ダウンロード版にて発行)

(4) 広報事業

①広報紙「日本PTA」を刊行する。

(発行回数) 年2回発行(PDF版)

②ホームページ、日本PTAパンフレット、刊行書籍(優秀広報紙作品集ほか)等を活用して事業活動等の発信を強化する。

③関係府省庁・機関等に対し、必要に応じて協力要請・要望活動を行う。

(要望) 中央教育審議会をはじめとする政府関係会議等で提言・要請を行う。

(5) 国際交流・研修事業

中学2年生を対象に、多様な文化・歴史・平和などの理解と視野を広めるための「研修事業」を3月に行う。また、会員数及び児童生徒数の減少傾向をふまえ、隔年開催等事業実施の効果等の分析を行う年度とする

(開催日) 令和9年3月下旬(予定)

(場所) 未定

(6) 教育支援助成事業

事業を実施できるかどうかも含めて再検討する。

2 収益事業

(1) 協賛事業

優良事業・物品及び優良映画等の推薦を随時行う。協賛社を増やせるように積極的に活動する。

以上